

「多摩川と鶴見川」

市内を流れる川は、多摩川水系に属する川と、鶴見川水系に属する川があります。市民は、これらの川を活用し、川にかかわり合うことから潤いのある生活や文化を育んできました。



東京と接する多摩川

■概要

多摩川は、山梨県塩山市地先の笠取山にその源を発し、東京都の西南部を流下して、東京都と神奈川県を流れ、東京湾に流入しています。流域の地形は山地部68%、平地部32%で構成され、流域面積は1,240 km²で、幹川流路延長138kmの一級河川。流域の中・下流部は京浜地区の中央に位置し、首都圏のなかでも都市化が進んでいます。



■流域

多摩川流域は、山梨県、東京都、神奈川県の一都2県にまたがっています。市内においては、平瀬川、平瀬川支川、二ヶ領本川、二ヶ領用水、五反田川、三沢川、山下川、旧三沢川が流域となっています。



横浜と接する鶴見川

■概要

鶴見川は、東京都町田市に源を発し、多摩丘陵を流下して、横浜市鶴見区で東京湾に流入しています。流域の地形は、山岳地はなく約70%の丘陵台地と約30%の平地からなり、流域面積は235km²で幹線流路延長42.5kmの一級河川です。流域は首都圏に近接していることで都市化が進んでいます。

■流域

鶴見川流域は、町田、稲城、横浜、川崎の4市にまたがっており、市内においては麻生川、片平川、真福寺川、早野川、矢上川、および有馬川、渋川、江川が流域となっています。

